

1 答申について

※「戸田市自治基本条例について（諮問）」参照

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経験した私たちが、社会状況の変化に対応しながら、どのようにまちづくりの担い手としての市民参加を促進していくか、検討してください。

《委員の皆さまからの答申修正案》

岩本委員からの案

このような状況から、まちづくりの担い手としての市民参加を促進する手法について、戸田市自治基本条例の基本原則である三者協働の視点を踏まえ、以下のとおり提案いたします。

【具体的施策】

1 市民・地域活動の支援について ～活動しやすい「環境」を作る～

(1) 市民が行うべき役割

- ・ 従来通りの方法だけでなく、Zoomやオープンスペース、公園などでの様々な手法での活動を考える。
- ・ 組織運営の自己点検を行い、透明性があり、誰もが参加しやすい組織運営を目指す。
- ・ 多くの市民を取り込むため、まちづくりフォーラムを開催・参加し、活動を知ってもらう機会とする。

※ 上記のような市民活動を促進するべく環境醸成をしていくことが考えられる。例えば、市の町会担当部署において、ある町会において成功事例があった場合、各町会に積極的に紹介していく（恒常的・積極的に情報を収集し、有益な情報を都度展開していく）ことが考えられる。

(2) 議会が行うべき役割 修正なし

※ 例えば、戸田市文化会館の活用の促進（後記（3）参照）について、条例が障害となっているのであれば、議会においても積極的に市民のニーズを汲み取り、まちづくりの担い手としての市民参加を促進していくための迅速な対応が望まれる。

※ 議会の意識改革が必要であれば、議会への働き掛けも必要である。

(3) 行政が行うべき役割

- ・ 公共スペースの活用を促進し、まちづくりの担い手としての市民参加を促進していくための活動場所・時間を拡充する。

※ 例えば、戸田市文化会館の利用について、

- ① ネット上で予約できるようにする（現状では、必ず会館まで行かないと予約できない。）、
 - ② 予約枠を1時間単位にする（現状では、全日又は午前1枠、午後2枠のみである。利用料金もこれに依拠している。）、
 - ③ 閉館時間を繰り下げる（前記により柔軟に予約ができるようになれば、予約があった日に限り閉館時間を繰り下げることが考えられる。）、
- 等が考えられる。とくに上記①は、市内の他の公共スペースでは既にネット予約が可能となっている施設もあるところであり、偏りなく市内の公共スペースの活用を促進していくことが望ましい。

- ・ 利用しやすい補助金など、資金面で活動を支援するなど、ニーズに合わせた活動の後押しをする。

2、情報発信の仕方について～誰もが気に留めやすくする～

- (1) 市民としての役割 修正・追記なし
- (2) 議会としての役割 修正・追記なし
- (3) 行政としての役割 修正なし

※ とりわけ戸田市公式LINEは、情報の伝達速度が速く、災害情報等の要緊急時の活用においても有効と考えられることから、積極的に活用していくことが考えられる。例えば、友だち申請の目標値を設定する、(新規)友だち登録者に特典を付与する(希望者に抽選で、市長への表敬訪問の機会を与えるなど)等により、普及を推進することが考えられる。

牧野委員からの案

【具体的施策】

1、市民・地域活動の支援について～活動しやすい環境を作る～

- (1) 市民が行うべき役割
 - ・従来通りの方法だけでなく、ZoomWeb 会議やオープンスペース、公園などでの様々な手法での活動を考えるとともに、組織運営の自己点検を行い、誰もが参加したくなる活動を目指す。
 - ・多くの市民を取り込むため、まちづくりフォーラムを開催し、活動を知ってもらう機会とする。
- (2) 議会が行うべき役割 修正・追記なし
- (3) 行政が行うべき役割 修正なし

・自己点検の基準となるモデル運営マニュアルを作成する。

2、情報発信の仕方について～誰もが気に留めやすくする～

- (1) 市民としての役割
 - ・まちの情報を収集し、積極的な活動参加やSNSでの発信など、よりよいまちづくりについて興味を持つよう意識を広げていく。
 - ・ZoomWeb 会議を利用した研究会を実施し、まちづくりを担う人々の取り組みと現状と課題を多くの人が共有し、担い手を応援、励ます機会としていく。
- (2) 議会としての役割 修正・追記なし
- (3) 行政としての役割 修正・追記なし

木本委員からの案

【具体的施策】

1、市民・地域活動の支援について～組織の透明性の確保と魅力の発信、活動しやすい環境を作る～

- ①市民が行うべき役割
 - ◇活動の場を広げる。Zoom やオープンスペース、公園など。
 - ◇安心・信頼のおける市民活動。組織運営の自己点検を行うことで透明性を高め、誰もが参加しやすい活動を目指す。
 - ◇多くの市民を取り込むため、まちづくりフォーラムを開催し、活動を知ってもらう機会とする。
- ②議会が行うべき役割 追記・修正なし
- ③行政が行うべき役割

文化会館、自治会館の活用促進を行い、活動場所・時間を広げる。また、利用しやすい補助金など、資金面で活動を支援するなど、ニーズに合わせた活動の後押しを考えていく。

2、情報発信の仕方について～目に留まる広報活動、誰もが気に留める習慣に～

①市民が行うべき役割

- ◇ まちの情報を収集し、積極的な活動参加やSNSでの発信など、よりよいまちづくりについて興味を持つよう意識し広げていく。
- ◇◇ Webを利用した研究会を実施し、まちづくりを担う人々の取り組みと現状と課題を多くの人が共有し、担い手を応援、励ます機会としていく。

②議会が行うべき役割 追記・修正なし

③行政が行うべき役割 追記・修正なし

小野塚委員からの案

1、市民・地域活動の支援について～活動しやすい環境を作る～

①市民が行うべき役割・・・従来通りの方法だけでなく、Zoomやオープンスペース、公園などでの様々な手法での活動を考えるとともに、組織運営の自己点検を行い、誰もが参加したくなる活動を目指す。

多くの市民を取り込むため、まちづくりフォーラムを開催し、活動を知ってもらう機会とする。

②議会が行うべき役割・・・市民・地域活動を積極的に自らが発信し、活動の魅力を伝えていくと共に、人と人のつながりを作る架け橋となり、活動の活性化を後押しする。

③行政が行うべき役割・・・公共スペースの活用促進を行い、活動場所・時間を広げる。また、利用しやすい補助金など、資金面で活動を支援するなど、ニーズに合わせた活動の後押しを考えていく。

具体的には、
 ・戸田市文化会館の利用時間区分の見直し(1時間単位など)
 行く行くはネットでの利用申請が可能になるよう改善。
 ・町会館の耐震工事の補助金制度。

松下委員からの案

【具体的施策】

1、市民・地域活動の支援について～活動しやすい環境を作る～

④次期自治基本条例推進委員会の活動

「透明性があり、誰もが参加しやすくなる運営マニュアル」(モデル案)を作成し、市民活動の活性化を後押しする。

2、情報発信の仕方について～誰もが気に留めやすくする～

④次期自治基本条例推進委員会の活動

これまで実践してきたWeb会議による情報共有の実践を踏まえて、「戸田市における様々な活動を市民が知り、市民間で語り合えるWebを使った仕組みづくり」の研究を行う。

《本日について》

答申案1と答申案2について、どちらを今期の委員会の答申とするか決定する。



答申案1について

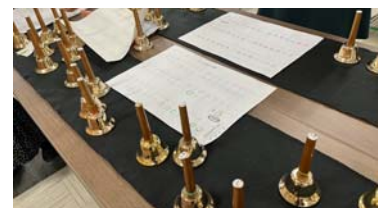
委員会での皆さまのご意見を出来る限り言葉を変えずにまとめ、前回委員会後にいただいた意見も加味して作成した最終案となります。

	答申への反映結果と理由
岩本委員からの案	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)(2)(3)等の内容について反映 ・「※」を使用すると、注釈という意味合いと捉えるため、項目の中に追記。 ・「市の担当部署～」は実施している。 ・「希望者に抽選で、市長への表敬訪問の機会を与える」は委員会の中の発言になく、警備上の観点からも難しい。
牧野委員からの案	反映
木本委員からの案	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇が行うべき役割」については反映。 ・副タイトルを内容に反映。「文化会館、自治会館」については、その2つだけの活用促進という意味ではないため、「市内公共施設」とする。
小野塚委員からの案	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化会館の1時間単位での利用」「ネットでの利用申請」については、どの公共施設でも当てはまる内容であるため、「市内公共施設」とする。 ・町会会館の補助金については、実施している。 ・語尾の「～しよう、～そう」は、実行主体や実行性が不明瞭になりかねないため、今回は見送る。
松下委員からの案	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の委員会の展望や理想を(4)として記載。

2 ハンドベルを通して協働を体感しよう

ハンドベルの演奏は、意思疎通や協力がそのまま音に現れる繊細な楽器ですが、知識や経験がなくても協働すれば出来る簡単な楽器でもあります。

実際に市民活動をしている小野塚委員のご指導のもと、委員全員で楽しく協働を体感しましょう。



3 第四期委員会を振り返って

※任意参加のもの

日 程	実 施 事 項
令和4年 4月27日(水)	第1回 戸田市自治基本条例推進委員会
7月12日(火)	第2回 戸田市自治基本条例推進委員会
10月18日(火)	第3回 戸田市自治基本条例推進委員会
11月6日(日)	※《啓発活動》 とだ環境フェア2022
11月14日(月)	※第1回 啓発用リーフレット作成ワーキング
12月15日(木)	第1回 Zoom研究会 市民活動とまちづくり
12月19日(月)	※第2回 啓発用リーフレット作成ワーキング
令和5年 1月17日(火)	第4回 戸田市自治基本条例推進委員会
2月21日(火)	※第2回 Zoom研究会 町会・自治会とまちづくり
3月25日(土)	※《啓発活動》 第7回さくらパルまつり
4月25日(火)	第5回 戸田市自治基本条例推進委員会
5月23日(火)	※第3回 Zoom研究会 Z世代のまちづくり
6月5日(月)	※答申検討ワーキング
7月25日(火)	第6回 戸田市自治基本条例推進委員会
9月26日(火)	※第4回 Zoom研究会 戸田市の公共施設の現状と今後について
10月21日(土)	※《啓発活動》 第41回商工祭
10月24日(火)	第7回 戸田市自治基本条例推進委員会
令和6年 1月16日(火)	第8回 戸田市自治基本条例推進委員会
2月9日(金)	第四期戸田市自治基本条例推進委員会答申式 出席者：委員長 副委員長

この委員会は、協働を体現する委員会であり、協働について考え、啓発していく委員会です。
今後様々な人と関わる際に、「協働」をどう語りますか？

4 その他

啓発活動について

3月さくらパル大祭りでの啓発活動を検討していたが、今期の委員会は本日で終了となること、前回の啓発活動で配布部数や目的は達成されたため、実施はしないこととする。

連絡事項

- ・答申式は2月9日(金)9時を予定(委員長、副委員長の御出席をお願いします)
- ・次期委員会の市民委員の公募は2月1日～2月19日を予定

メモ

